スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

令和7年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

愛知県大治町

自 治 体 名 ： 愛知県大治町
担 当 課 名 ： 教育委員会スポーツ課
電 話 番 号 ： 052-443-7077

1.自治体の基本情報

スポーツ庁

基本情報

面積	総面積6.59㎢
人口	33,694人
公立中学校数	1校
公立中学校生徒数	982人
部活動数 （運動部活動のみ）	17部活
地域クラブ活動数	11クラブ
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

地域連携・地域展開における市区町村の現状・課題

【現状】

当町は1中学校で運動部は、軟式野球、男女バスケットボール、男女バレーボール、陸上、男女ハンドボール、女子ソフトボール、男女卓球、男女ソフトテニス、サッカー、水泳、柔道、剣道の17部が活動している。

本町の人口はほぼ横ばいでどの部活動も部員数が多く、限られた施設や時間の中での活動に苦慮している。また、種目が多く、未経験種目の部活動顧問を引き受けている教員も少なからずいる。

そこで、部活動地域展開の実証事業として、令和6年度は4地域クラブ、7年度は参加費を徴収して11地域クラブを開設し、月に1回の土曜日か日曜日に3時間実施し、それ以外の土日は部活動を行った。指導は、町のスポーツ教室やスポーツクラブ指導者に依頼した。すべて実業団OBや競技経験豊富な方々で学校部活動の指導に合わせて指導していただくことができ、生徒が混乱することなく進めることができた。参加した生徒からは「楽しかった」「わかりやすく教えてもらってできるようになった」等好評価の意見が多く聞かれた。

しかし、参加費が必要なこと、月に1回しかないこと、他の土日は費用負担がない部活動ができること等で地域クラブへの加入率は低く、運営方法を改善することが必要と感じた。

令和7年度　おおはる地域クラブ

【地域クラブ活動参加者　143人】　【3年:38人　2年:51人　1年:54人】

種　目	ソフト	卓球男子	卓球女子	テニス	バレー	バスケ	ハンド男子	ハンド女子	サッカー	陸上
指導者	大治中ソフトボールクラブ指導者	町ジュニア卓球クラブ指導者	町ジュニア卓球クラブ指導者	元大治中教員	ウルフドッグス名古屋選手OB	豊田合成スコーピオンズ選手OB	町スポーツ教室指導者	愛知大学女ハンド部	町スポーツ教室指導者	Running Designクラブリーチャースポーツクラブ指導者
加入率	73%	61%	44%	49%	29%	28%	22%	32%	12%	8%
部活動部員数	15人	18人	36人	57人	76人	64人	51人	38人	57人	73人

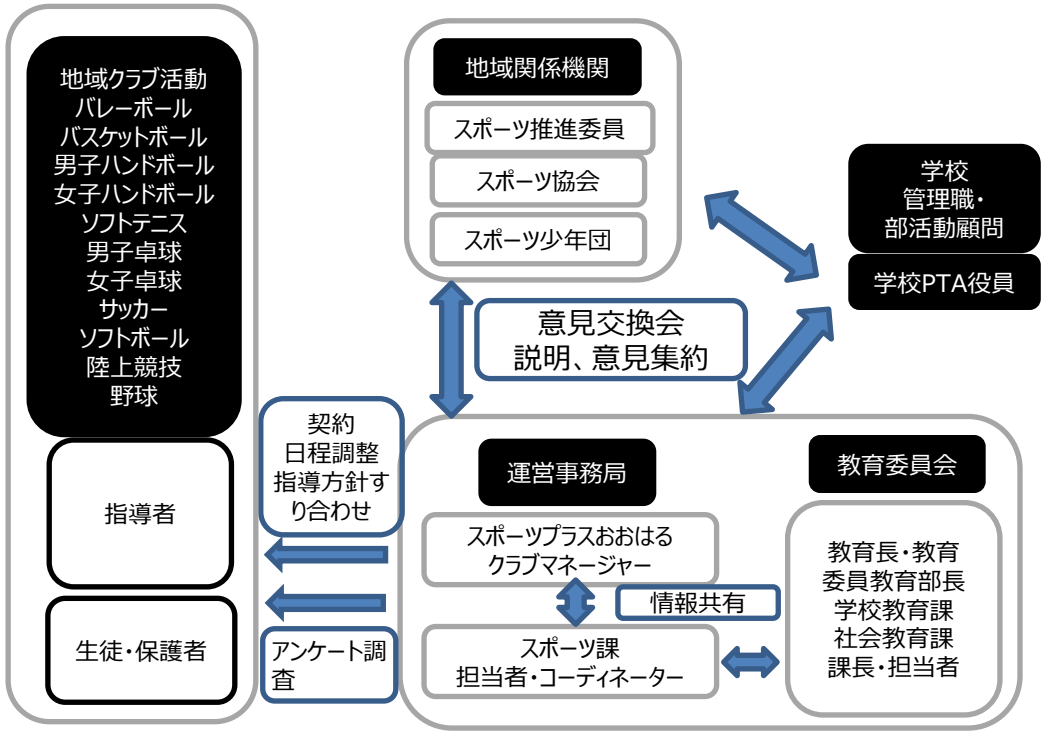
【課題】 参加費に見合う運営方法、生活困窮家庭への支援方法、会員・会費の管理、部活動顧問と地域指導者の連携方法

2.実証内容と成果

スポーツ庁

運営体制・役割

●市区町村における推進体制図



●行政組織内での役割分担

◉教育委員会
・スポーツ課…部活動地域展開の主幹、地域展開の推進計画の立案、地域クラブ活動の運営、総合型地域クラブとの連携、保護者・生徒からの相談窓口、学校管理職との情報共有、部活動顧問との情報交換、企業との連携
・学校教育課・社会教育課…中学生の地域スポーツ・文化活動の環境整備

年間の事業スケジュール

令和7年4月	中学校教職員へ大治町の地域展開について説明 中学校PTA総会で保護者へ部活動地域連携について説明
令和7年5月	地域クラブ活動（野球・卓球・バスケ・バレー・ハンド・陸上・サッカー・テニス）開始
令和7年6月	第6回大治町部活動意見交換会実施
令和7年7月	サポーター企業募集 サポーターTシャツ作製
令和7年8月	地域クラブ活動巡回 指導者と面談開始
令和7年10月	土日の部活動を地域クラブ活動へ移行する日程を確定（令和8年8月から）
令和7年11月	中学校入学説明会で保護者へ部活動地域連携について説明 中学校教職員へ地域連携希望調査アンケート実施・顧問面談開始
令和8年2月	近隣市町村で部活動地域移行情報交換会を開催
令和8年3月	地域クラブ活動申し込み・会費徴収システム整備（Web）

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の運営実績

①全体に関すること

実施した地域クラブ活動総数		11クラブ	
ケース別地域クラブ活動数	A：部活動を地域移行した形の地域クラブ活動数（及び移行された部活動数）		11クラブ（14部活動）
	B：部活動にはない種目等、新規の地域クラブ活動数		0クラブ
全体の指導者数	34人	全体の運営スタッフ数	2人

②各地域クラブ活動に関すること（一部抜粋）

地域クラブ活動名	運営団体種別	種目	実施回数（平日・休日）	実施時間帯	参加者（学年別）	実施期間	指導者数	運営スタッフ数（他クラブと兼務）	会費	大会参加方法
大治町地域クラブ活動	総合型地域スポーツクラブ	バスケットボール	・休日　10回	（土）8:30～11:30	1年：9人 2年：6人 3年：3人	令和7年5月～令和8年2月	3人	2人（内、兼務 2人）	5,000円/年額	すべて：部活動
大治町地域クラブ活動	総合型地域スポーツクラブ	バレーボール	・休日　10回	（日）14:00～17:00	1年：5人 2年：6人 3年：11人	令和7年5月～令和8年2月	4人	2人（内、兼務 2人）	5,000円/年額	すべて：部活動
大治町地域クラブ活動	総合型地域スポーツクラブ	ソフトテニス	・休日　10回	（土）8:30～11:30	1年：14人 2年：10人 3年：4人	令和7年5月～令和8年2月	2人	2人（内、兼務 2人）	5,000円/年額	すべて：部活動
大治町地域クラブ活動	総合型地域スポーツクラブ	男子卓球	・休日　10回	（日）13:00～16:00	1年：7人 2年：12人 3年：8人	令和7年5月～令和8年2月	2人	2人（内、兼務 2人）	5,000円/年額	すべて：部活動
大治町地域クラブ活動	総合型地域スポーツクラブ	女子ハンドボール	・休日　10回	（土）8:30～11:30	1年：10人 2年：2人 3年：0人	令和7年5月～令和8年2月	12人	2人（内、兼務 2人）	5,000円/年額	すべて：部活動
大治町地域クラブ活動	総合型地域スポーツクラブ	ソフトボール	・休日　10回	（日）12:15～15:15	1年：5人 2年：6人	令和7年11月～令和8年2月	5人	2人（内、兼務 2人）	5,000円/年額	すべて：部活動

2.実証内容と成果

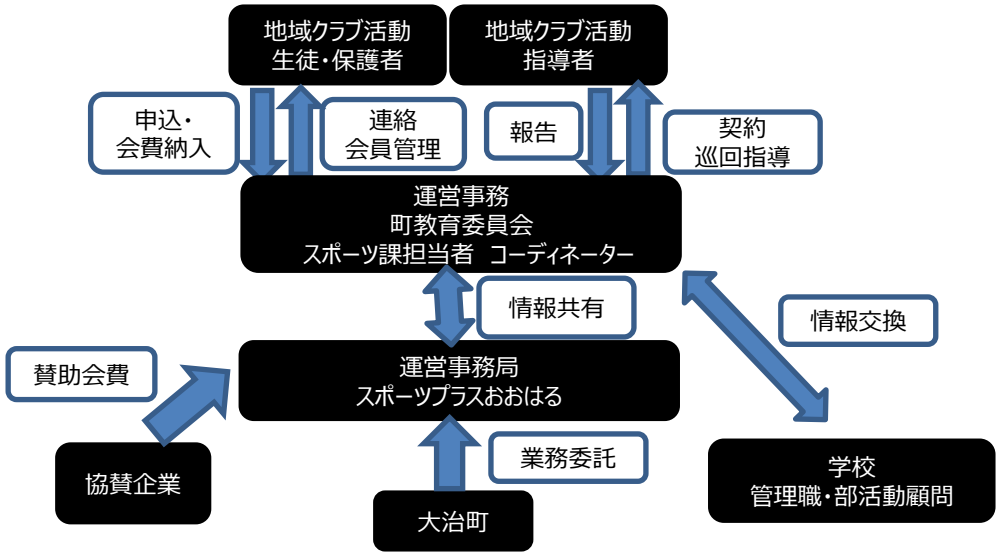
スポーツ庁

主な取組例

●大治町地域クラブ活動　活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	バスケットボール、バレーボール、サッカー、野球、男子ハンドボール、女子ハンドボール、男子卓球、女子卓球、ソフトボール、陸上、ソフトテニス
運営団体名	スポーツプラスおおはる
期間と日数	月1回程度　全10回 令和7年5月～令和8年3月 ＊野球のみ1回実施
指導者の主な属性	実業団OB、会社員、自営業、大学生 教員
活動場所	大治中学校（体育館、グラウンド、柔剣道場、テニスコート）
主な移動手段	自転車、徒歩
1人あたりの参加会費等（年額）	5,000円/年
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年 ※指導者は別で保険に加入していたため、0件

●地域クラブ活動を実施する際の運営体制図



●指導者や運営スタッフ等の役割分担等

●町教育委員会スポーツ課担当者、コーディネーター

役割：地域クラブ活動指導者と部活動顧問とのつなぎ、保護者・生徒からの相談窓口、活動日調整、活動場所調整、関係者への連絡、事務手続き

●各クラブ主任指導者　11名

役割：日程調整、クラブ指導、報告

●部活動顧問

役割：日程調整

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

○コーディネーターを1名配置し、町教育委員会・学校管理職・部活動顧問・町スポーツ協会・スポーツ推進委員との情報交換・連絡調整を行った。
○運営団体であるスポーツプラスおおはると情報交換・情報共有を行い、おおはる地域クラブの運営体制の整備や人材の確保等、持続可能な運営ができる組織体制の整備を行った。
○おおはる地域クラブの活動状況を巡回して把握し、指導助言を行った。
○参加者管理、参加者・指導者への連絡、日程、会場の調整等にスマホアプリを活用し、さらに会費徴収のための整備を行った。
○近隣の海部地区7市町村の担当者間で情報交換をして、地域展開の環境整備を行った。

課題への対応方針

○関係団体等との連携や指導者・顧問との連携が課題であったが、スマホアプリを導入することで大幅に改善できた。
○次年度は、会費徴収・指導者研修もできるアプリを導入する予定。

取組の成果

○関係者との情報共有・連絡調整
・スマホアプリ「BAND」を活用し、日程調整・日程変更・出欠連絡・出欠確認・施設調整・活動内容の報告等が昨年度より大幅に向上した。
○実施主体の整備
・連絡調整にはアプリを活用し、重要事項は対面で面談をし、情報共有をしっかり行うことで、参加者や顧問から評価が高い地域指導者の確保ができた。
・管理職や町施設の管理者と随時確認作業を行い、施設確保もほぼ混乱なくできた。
○指導助言の体制
・コーディネーターやスポーツ課担当者が活動・指導状況を巡回して把握し、アプリ等で参加者の意識、困りごとを確認して早い対応を行うことができ、トラブルなく活動ができた。

今後の取組における課題

○部活動がスライドした形の地域クラブ活動で、月に1回だけ有料で実施したので参加率がかなり低かった。今後は、すべての休日を地域クラブ活動にし、新たな価値を持たせることで、生徒が参加したくなるクラブ活動の運営に取組たい。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

コーディネーターの具体的な動きの実績

【コーディネーター】

・運営事務局であるスポーツプラスおおはるのクラブマネージャーと定期的な打ち合わせ
・毎月、各クラブを巡回し、課題等のヒアリング・助言等を実施
・関係団体との連携のため、町意見交換会を実施
・管理職、部活動顧問、参加者と保護者、指導者との連絡調整
・令和8年度の推進計画を作成
・財源確保のため、企業まわりをして協賛企業を募集
・活動に必要な物品等の整備
・保護者からの相談とその対応

地域クラブ活動の運営効率化に向けた取組

・日程調整、日程変更、施設調整、参加者の出欠、部活動と地域クラブ活動の情報共有、実施報告について、スマホアプリ「BAND」を活用したことによって連絡ミスが減り、参加者との連絡もスムーズにできた。
・しかし、登録していない方や確認を忘れる方もみえて、個別に電話する等の対応が必要であった。また、会費徴収機能がなかったので現金集金がかなり大変であった。

運営団体・実施主体の安全性確保に向けた取組

・スポーツ保険の加入
・運営事務局のスポーツプラスおおはると町スポーツ課でWチェックをして事業運営、会計処理を実施
・活動を実施したごとの報告を依頼し、トラブル等がなかったか随時確認
・コーディネーターが巡回し活動を確認
・指導者や参加者へ聞き取りを実施

地域クラブ活動におけるトラブル・事故発生時の対応方針

・暴風・大雨警報・・・集合1時間前に出ていたら中止し日程変更
・出席確認・・・開始時刻までに連絡がない場合は保護者へ連絡
・けが・体調不良等・・・スポーツセンター担当者が応急処置
・首から上のけが・・・意識なしor朦朧の場合は救急車対応
・自力で帰れないor救急車対応の場合・・・保護者と中学校管理職へ連絡
・帰宅後に病院で受診・・・スポーツ安全保険で対応
・活動中の生徒同士のトラブル・・・コーディネーターが事情を確認し関係者対応
・トラブル・事故等の管理責任・・・運営主体であるスポーツプラスおおはると町教育委員会

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

取組事項

【質の確保のため】
・地域指導者がプロの指導者と一緒に指導する機会を確保
・指導研修の開催、コーディネーターによる地域クラブの巡回・指導
【指導者の量の確保】
・人材バンクの活用
・スポーツ教室や事業等で声掛け

取組の成果

【質の確保のため】
・プロの指導者と一緒に指導する機会を確保
・指導研修を開催
今年度は、実業団やスポーツ教室の指導者ばかりであったので、コーディネーターが巡回して、生徒の指導に必要な内容を伝えたり助言をおこなった。
【指導者の量の確保】
・人材バンクの活用
今年度は、スポーツの部については人材バンクの活用は必要なかった。

今後の取組における課題

【質の確保のため】
・指導研修を開催
今年度は、コーディネーターが個別対応したが、本格実施になった場合は、時間的に困難であり、一律の指導助言は不可能
【指導者の量の確保】
・人材バンクの活用
部活動顧問との連携ができる方を探すことが困難

課題への対応方針

【質の確保のため】
・指導研修を開催・・・ICTの活用
・地域が開催する研修会への案内
【指導者の量の確保】
・人材バンクの活用・・・顧問からの要望を確認して条件に記載
・・スポーツ教室や事業等で声掛け

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　イ：指導者の質の保障・量の確保

多様な人材の発掘・配置に向けた取組

【量の確保】

・大学訪問で大学生の指導者を募集

・町スポーツ教室の指導者からの紹介

・企業訪問で指導者を募集

・県人材バンクを活用

【質の確保】

・町スポーツ教室やイベントで指導実績のある指導者を雇用

・指導実績がないor経験が浅い指導者には、コーディネーターが指導助言

指導者研修の内容

研修名	災害時・けが等の対応や処置
講師	町コーディネーター　赤田由起江
研修内容	・災害時の対応 ・けが・病気等の対応 ・事故・生徒間トラブルの対応

指導者研修受講者の声

●参加者の声

参加者①
巡回して直接、生徒のおかれている状況を教えてもらえたので、気を付けてみることができた。

参加者②
事前に災害時やけがの対応を伝えていただいていたので、今回は何もなかったが、不安なく指導ができた。

参加者③
スマホアプリで常時連絡が可能であったので、生徒が体調不良の時も応急処置をしている間にコーディネーターがかけつけてくれたので、その後も安心して活動ができた。

指導者の資格取得促進に向けた取組

・資格取得するための資金援助に向けて企業賛助金を募集

指導者総数	38人
資格所持指導者数	7人
本年度資格を取得した指導者	1人

平日・休日の一貫指導に関する取組

・民間企業のアプリを利用した指導者と部活動顧問との活動内容や大会状況の共有

・部活動の活動目標の共有

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・総合型地域スポーツクラブとの連携・・・運営主体ではあるが、現在はスポーツ課担当者とコーディネーターが主体となって活動しているため、定期的に打合せを行い情報共有した。
・大学との連携・・・愛知大学ハンドボール部女子と連携して女子ハンドボールクラブの指導を依頼した。
・企業との連携・・・スポーツプラスおおはるの賛助会員になり費用援助を依頼した。

取組の成果

・総合型地域スポーツクラブとの連携
　スポーツ課とスポーツプラスおおはるとの打ち合わせ会を毎月1～2回実施することで、会費、会員管理についてWチェックができた。
・大学との連携
　大学にとっては施設を優先的に使用できると好評で、中学生にとっては、技術面だけでなく将来に向けての話等も聞くことができ、9割以上の満足度が得られた。
・企業との連携
　企業10社から120万円の賛助金が得られ、練習用Tシャツや必要な物品を購入することができた。企業にとっても地域貢献ができてイメージアップにつながると好評だった。

今後の取組における課題

・総合型地域スポーツクラブとの連携・・・運営主体ではあるが、事業に対して運営スタッフの人数が足りず、スポーツ課が運営主体となっていた。
・企業との連携・・・募集に関しては、1社ずつ回ったので、多くの企業に回ることができなかった。

課題への対応方針

・総合型地域スポーツクラブとの連携
　ICTを活用し、事務分担をして総合型地域スポーツクラブで運営できるように環境整備する。
・　総合型地域スポーツクラブのスタッフを増員し、スポーツ課との連携強化を図る。
・企業との連携
　ホームページの活用をして、多くの企業が関心を持っていただけるように広報を工夫する。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　ウ：関係団体・分野との連携強化

まちづくりと連携した取組

○地元企業と総合型地域スポーツクラブとの連携で地元の活性化
・地元企業から費用支援を受け、小中学生のスポーツ・文化的な活動の環境整備に協力していただいた。
・サポーター企業名やロゴをプリントした練習用Tシャツを練習で着用することで地域の方へ地元企業を知っていただく機会とした。

【成果】
○費用支援により、おおはる地域クラブの活動・運営のための環境整備の一助となった。
○生徒は、サポーターTシャツにより地元企業を知る機会となり、応援していただいていることで企業への感謝とやる気につながった。
○単発事業ではなく、今年度実施したことにより、次年度以降も継続してサポートを希望する企業と繋がることができた。

【感想】

参加者①
練習用Tシャツは素材がよくてよくつかわせていただいています。これからも練習に励み大会で結果を残せるよう頑張ります。

参加者②
メッセージを読んで、企業の皆様に応援していただいていることをうれしく思いました。地元で活動できることに感謝し、練習をがんばります。

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

取組事項

①小学生が様々なスポーツを体験できる「スポーツチャレンジ」を開催し、中学生になったとき、主体的にやりたいことを選択しやすいようにした。
②地域クラブ活動だけでなく、スポーツ課主催のスポーツ教室と指導者を統一し、生徒が指導方法で混乱しないようにした。

取組の成果

①野球、バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、フットサル、卓球、バドミントン等の種目をすべて体験することができ、「やってみたい種目ができた」「初めてやったけどおもしろかった」等、関心を持たせることにつながった。
②地域クラブ活動だけでなく、スポーツ課主催のスポーツ教室と指導者を一緒にしたことで、生徒が指導方法で混乱することもなく、部活動顧問からも連携しやすかったと好評であった。

今後の取組における課題

○保護者の費用負担の軽減
○参加者多数によるけがの発生の抑制
○申込者多数のため、申込や参加費徴収の際に、窓口のみの受付のため煩雑になること。

課題への対応方針

○保護者の費用負担の軽減
参加者を増やして一人の負担額を軽減
○参加者多数によるけがの発生の抑制
運営方法の改善
中学生の見守り等ボランティアを活用し、複数の目で小学生を見守りできる体制を作る。
○申込者多数による窓口等の対応
システムを活用し、申込や参加費の収受を窓口以外でもできるように整備する。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　エ：面的・広域的な取組

市区町村等を越えた取組

○海部地区は7市町村で教職員の人事異動があるため、できる限り混乱しないように、7市町村の部活動地域展開の担当者やコーディネーターが情報交換会を行って合わせられるところの確認等を行った。

市町村名			愛西市	あま市	大治町	蟹江町	津島市	飛島村	弥富市
担当課			学校教育課 課長補佐（佐藤） コーディネーター（新井） 生涯学習スポーツ課	学校教育課（家田） 指導主事（水越） コーディネーター（籠島）	スポーツ課 コーディネーター（赤田） 主任（戸田） 学校教育課長（太田） 社会教育課（青木）	生涯学習課（佐々木） コーディネーター（上田） 学校教育課 総合型地域スポーツクラブ（杉浦）	学校教育課 指導主事（服部） コーディネーター（青木）	生涯学習課（近藤） 教育課（奥村）	学校教育課 コーディネーター（安江） 生涯学習課（栗本） NPO立ち上げ業務
アンケート			未実施	令和5年・令和6年実施	実施予定　令和7年11月 「地域連携について」 対象：顧問・地域指導者・ 中学生・保護者	令和5年実施	令和5年・令和7年実施	令和5年7月実施 令和7年7月 中3アンケート 「7割が満足」	令和6年9月実施
平　日			部活動：顧問	部活動：顧問	部活動：顧問	部活動：顧問	部活動：顧問	部活動：顧問	部活動：顧問
土日	令和7	活動状況	部活動：顧問 （一部）外部指導者 地域クラブ（一種目）	部活動：顧問 （一部）外部指導者	月1回 地域クラブ活動 残りは部活動（顧問）	部活動：顧問	部活動：顧問	委託 （株）リーフラス	部活動：顧問 （一部）外部指導者
		種目	地域クラブ：吹奏楽（国事業） 外部指導者： 永和：男バレー・女テニス 佐屋：野球・女テニス・オケ 立田：女ソフト 八開： 佐織：男バスケ・サッカー 佐織西：女バレー	柔道	バスケ・バレー・陸上・ ハンド男・ハンド女・ 卓球男・卓球女・ サッカー・テニス・ 吹奏楽・ 野球（休止中）・ ソフト（検討中）・ ロボコン（指導者探し中）	9月13日～剣道クラブ ＊部活動と完全に切り離す	令和8年～4中学校2部活動ずつ 土日すべて地域	女テニス・ 女バスケ（西尾張大会出場） 卓球 野球（令和7年4月入部なし） リベラル部（令和7年4月入部開始） 平日のみ 生徒主体 20人	
		県実証事業	あり（生涯学習スポーツ課）	なし	2年目	あり	あり	なし	なし
		補助金	指導員配置（学校教育課）	指導員配置	なし	なし	なし	なし	なし
	地域連携移行	目標	令和10年4月	令和10年4月	令和8年8月	令和9年9月	未定	令和6年9月～令和10年	令和9年9月
		運営主体	市（コーディネーター）	市	総合型地域スポーツクラブ 「スポーツプラスおおはる」	総合型地域スポーツクラブ		民間業者（正社員） （株）リーフラス	NPO法人やとみ放課後アカデミー（総合型と切り離し）
		兼職兼業	令和7年予定	令和8年予定	令和7年5月～ 異校種2人 令和8年8月～ 大治中教諭希望	希望者を活用予定	必要に応じて	なし	令和9年予定
		受益者負担	未定	ありの予定	年会費1,500円 月額500円/1回	県の実証事業の間はなし	ありの予定	なし	ありの予定
備考欄			○県登録&ハローワークで指導者確保 ○指導者研修は国のネット配信利用 ○部活動指導員を配置し、採算が見込めればクラブチーム立ち上げ	○既存団体を活用して地域連携を実施	① 小学生から授業後、長期休業に受益者負担有でスポーツ体験を実施 ② 企業協賛を募り、スポンサーTシャツ作製 企業9社（令和7年9月～着用予定） ③ スポあんアプリ導入検討	○蟹江中と蟹北中で合同練習の形で令和7年10月～実施予定 ○指導員確保は町独自で実施		○将来は委託でなく地域でクラブ活動運営を目標 ○リーフラス 1回6,000円 各部1名＋統括責任者1名 大会引率・審判は教員に＋	○やとアカ理事長（元P会長） ○東邦ガスと連携 ○学校部活動にない種目も追加
課　題			○一般人の指導者は保護者が心配 ○愛西スポーツクラブへ依頼したが人間関係、指導方法の違いで難しい		① 月1回地域クラブ、残りは部活動の形は生徒・保護者の理解が得にくく、日程調整も困難 ② 企業協賛は事務手続きが大変	ガイドラインの作成			

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　オ：内容の充実

取組事項

○異学年交流ができる場を設定

・「授業後スポーツチャレンジ」

中学生になったとき、部活動ではない地域クラブ活動が生徒や保護者へ受け入れやすいように、小学生にも地域クラブ活動の一環としてスポーツ体験「授業後スポーツチャレンジ」を月に2回2時間、1～3年生の部と4～6年生の部に分けて開催した。参加者は下校をせず、そのまま体育館で活動できるように学校と連携をして取組んだ。

・「夏休み・春休みスポーツチャレンジ」

小学生が様々なスポーツを体験できる場として長期休業中に開催し、中学生とも関わることができるようにボランティアを募集した。

今後の取組における課題

○「仲間と楽しく活動したい」「もっと強くなりたい」等、目的が違う子たちが満足できる環境整備

課題への対応方針

○町のスポーツ教室、スポーツ少年団、おおはる地域クラブ、民間クラブ（大治町と連携）等、ニーズに合わせて選択できる場を整備

取組の成果

令和7年夏休みスポーツチャレンジ　報告　　令和7年8月21日

【申込者総数102人】【3年:19人 4年:42人 5年:17人 6年:24人】
【大治小 34人　3年:14人 4年:14人　5年:5人　6年:1人】
【南　小 26人　3年:1人 4年:12人　5年:6人　6年:7人】
【西　小 42人　3年:4人 4年:16人　5年:6人 6年:16人】
【ボランティア数 64人】【大治中：61人 1年：16人 2年：26人 3年：19人】【一 般：3人】

日　時	種　　目	参加者数 児童	参加者数 ボラ
8月7日（木）13:00～16:00	ハンドボール・卓球・バドミントン・バスケットボール	94人	29人
8月19日（火）13:00～16:00	フットサル・おにごっこ・ソフトバレーボール・ドッジボール	90人	26人
8月21日（木）13:00～16:00	野球・卓球・バスケットボール・ドッジボール	93人	30人
8月5日（火）13:00～16:00	授業後スポチャレドッジボール大会	94人	22人

備考欄

・今年度も定員100人で、受付初日は仕事をしている保護者を考慮し18時からとした。武道場を待合室とし、受付がスムーズにいくように事前に注意事項を確認した。
・毎回、4グループに分かれて、30分ずつローテーションで4種目を体験、最後は30分フリータイムとした。
・体験種目は、ドッジボール（2回） バスケットボール（2回） 卓球（2回） フットサル ハンドボール ソフトバレーボール 野球 バドミントン 鬼ごっこ 計9種目を行った。
・今年度も 、200円程度持参し、自販機利用を可としたので、水分不足の問題はなかった。


バスケットボール

・61人の中学生ボランティアには、準備、受付、小学生グループのリーダーとして誘導や相手、片づけ等をお願いした。「部活動で遅れる」「用事で途中まで」という状況でも参加してくれ、うまく仲間に入れない子の相手やゲームにも積極的に参加してくれて大変助かった。
・一般のボランティアは募集せず、昨年度から参加して下さっている3人が声をかけてくれてお願いをした。子どもたちへの対応も的確で温かく、手の足りないところへ臨機応変に動いてくださり安心して活動ができた。


卓球

・申し込みした児童や保護者から「外でボールを使って遊べる場所がないし、暑くて外へ出せないのでありがたい」「いろいろな種目が体験できてとてもよい」との意見が多数聞かれた。
・スポーツチャレンジが小学生や保護者に浸透してきて、1,500円の参加費を徴収したが、100人をはるかに超える申し込みがあり、もっと定員を増やしてほしいという声も聞かれた。
・毎回参加してくれる児童も多く、ボールを投げる力やコミュニケーション力がかなり向上していると感じた。


ドッジボール

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

取組事項

○1口1万円の賛助会員となって、部活動地域展開のサポーターとなっていただける地域の企業を募集した。
○サポーターとなっていただいた企業を地域へ紹介するため、企業のロゴ入りTシャツを作製し、地域クラブの練習時に着用した。

今後の取組における課題

○毎年、安定したサポーター企業を確保すること
〇保険料の見直しや、参加者数を増やして全体の参加費を抑制すること

課題への対応方針

○企業にとっても魅力ある地域展開にするため、Tシャツで広報するだけでなく、小中学生のスポーツ大会を企業協賛で開催する等して町おこしにもつなげていく。
〇現行の保険以外に他社の保険も参考に見直していく。

取組の成果

○今年度は、現金集金をした関係で、最初に一括して参加費を徴収したため、企業の賛助会費を参加費用負担軽減につなげることができなった。
○必要なボールや道具を購入することができ、生徒や指導者からも感謝された。
○サポーターTシャツによって、地域からの応援を直に感じることができ、参加生徒は、「やる気につながった」等の声が聞かれた。
○指導者からもモチベーションアップにつながると大好評だった。
○企業も地域貢献につながり、ぜひ今後もという意見もいただいた。
○今後は、部活動基金にして安定した支援ができるようにしていきたい。



バスケットボール

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

収支バランス

○収支内容

・当初の予算額に対して、受益者負担が少なく、公費の割合がたかくなってしまった。原因として、休日部活動のうち月1回、年間10回程度の実施で参加者からの理解を得ることが難しく、各部活動の部員に対する地域クラブの参加率が低かった。

今後の課題および対応方針

○今後の課題

・各地域クラブ活動の参加者を増加させること。

・休日の部活動を次年度8月より地域クラブ活動へ完全移行していく際の周知・徹底。

○課題の対応方針

・次年度の8月から休日の部活動を地域クラブ活動に月4回、完全移行する。

・部活動顧問の先生へ休日の地域クラブ活動に完全移行するにあたり、説明会を実施し、部員への周知を広めてもらう。

●収入

項目	費用	割合
公費	4,661,298円	87%
受益者負担	706,900円	13%
合計	5,368,198円	—

●支出

項目		費用	割合
地域クラブ活動費		1,884,800円	35%
	諸謝金（指導者）	1,800,000円	—
	会場使用料	0円	—
	消耗品費	0円	—
	印刷製本費	0円	—
	携帯電話レンタル料	0円	—
	雑役務	0円	—
	生徒保険料	84,800円	—
	指導者保険料	0円	—
事務局運営費		3,483,398円	65%
	謝金	0円	—
	会場使用料	0円	—
	スポーツ教室開催費	0円	—
	保険料	0円	—
	人件費	3,483,398円	—
	交通費	0円	—
	印刷製本費	0円	—
	消耗品費	0円	—
	備品購入	0円	—
	通信運搬費	0円	—
	修繕料	0円	—
	振込手数料	0円	—
	一般管理費	0円	—
	消費税相当額	0円	—
合計		5,368,198円	—

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　カ：参加費用負担の支援等

持続可能な運営に必要な受益者負担額の試算

○地域クラブ活動の参加費は、以下の3点から1回3時間500円、月額2,000円で実施

①保護者への受益者負担額に関するアンケート結果で、許容できる月額費用2,000円以上が約70%であった。

②町で行っているスポーツ教室（バレーボール、バスケットボール、ハンドボール、野球、陸上競技、バドミントン、クロスミントン）が、1回1.5時間500円で行っている。

③小学生の授業後スポーツチャレンジ（地域クラブ活動へのスムーズな移行のために開催）が、1回2時間750円で行っている。

○運営資金不足に備え、部活動基金をつくるため、サポーター企業を募集する。

○参加人数が増え、収入が安定してきた場合は、参加費を減らすことを検討する。

大治町　部活動地域展開アンケート　　（保護者448人）

地域クラブ活動で許容できる月額費用はいくらですか？	割合
（1）　3,000円	32.7%
（2）　2,000円	25.7%
（3）　1,000円	19.8%
（4）　5,000円	10.7%
（5）　0円	9.8%
（6）　その他：500円、1,000円以内、必要な分	3.4%

2.実証内容と成果

スポーツ庁

取組内容

●取組項目名　キ：学校施設の活用等

取組事項

○今年度は、土日の部活動のうちの月1回ずつを地域クラブ活動としたので、学校が部活動として施設をおさえた。
○使用料は免除とした。

取組の成果

○今年度の全地域クラブ活動の91%を学校施設で、9%を町の施設で利用して実施した。
○学校施設や町の施設を利用することにより、費用もかからず、生徒も自力で来ることができた。
○普段使い慣れているため、練習の効率もよく、けがの防止にもつながった。

今後の取組における課題

○令和8年度は、すべての土日を地域クラブ活動とするため、トラブルのない施設予約

課題への対応方針

○指導者・運営事務局間の連携がとれるように、スマホアプリの導入

学校施設利用上の負担軽減に向けた取組

○スマホアプリを導入し、部活動顧問と地域指導者が連絡とれるようにし、トラブルがないようにコーディネーターが調整役を行った。
○運営スタッフに開錠・施錠を依頼した。
【成果】
○施設予約については、スマホアプリの導入で事務局の負担が軽減された。

用具使用・管理等における取組

○用具やボール等は学校部活動で使用しているものを活用し、壊れているものやボール等は、企業の賛助金で補充した。
【課題】
○修繕が必要な場合、ボールやスポーツライン等の消耗品の費用をどうするか。
【課題への対応】
○保険への加入
○地域企業からの費用サポート

2.実証内容と成果①

スポーツ庁

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

○令和6年度は、6部活動を月1回の休日で地域クラブとして実施し、令和7年度は、13部活動を月1回の休日で地域クラブとして実施した。

【成果】

○競技経験のない部活動顧問からは、月1回でも助かる等、好評であった。

○競技の実績が高い指導者が多く、部活動顧問からは信頼して任せられるとの声も聞かれた。

○生徒、保護者からは、指導については満足との声が多かった。

○スマホアプリの導入で、生徒への連絡がタイムリーにできた。また、指導者との情報交換、情報共有も電話よりも確実に伝わりよかった。

【課題】

○月1回だけ地域クラブで後は部活動のため、天候等で変更になった場合、日程調整が大変煩雑であった。

○1回だけの地域クラブはわかりづらく、部活動か地域クラブかどちらかにしてほしいという声が多く聞かれた。

○参加費の徴収を開始前に現金で集金したので、毎回、会計事務が煩雑だった。

○教員、生徒、保護者、地域指導者、運営事務局すべてが快適に行うには、コーディネーターが大変重要な役割を担うと強く感じた。

●成果の評価

○令和6年度の課題であった電話連絡の煩雑さは、アプリの導入で解消された。しかし、今年度から参加費徴収の事務も増えたが導入したアプリでは対応できなかった。

○令和6年度は6部活動のみだったが、令和7年度は、地域クラブとの連携を望む部活動すべてを月1回ではあるが地域クラブを実施することができた。

〇施設の施錠等も指導者がある程度行えるようになり、事務局が現地に出向く回数も減り、負担を減らすことができた。

●今後に向けて

○令和8年度からは、参加費徴収、出欠確認、連絡等ができるスマホアプリを導入し、事務の負担軽減を図る。

○令和8年度は8月より、土日に常時活動している部活動をすべて地域クラブとする。

○地域クラブの指導者は、指導を希望し、労働時間等の条件をクリアした教員を優先とし、地域指導者と一緒に指導したいか教員だけで指導したいか等の意見も聞いて地域指導者の配置を決定する。

2.実証内容と成果②

スポーツ庁

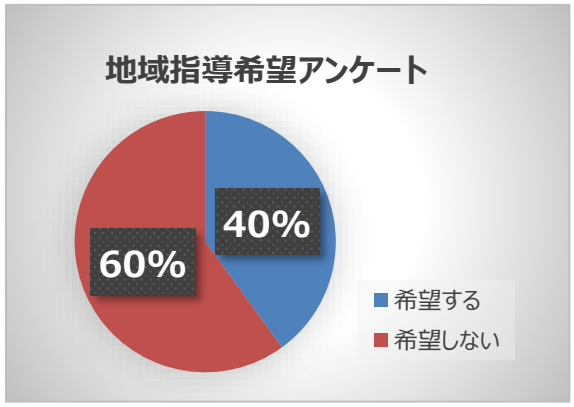
アンケート結果・参加者/関係者の声

●アンケート結果

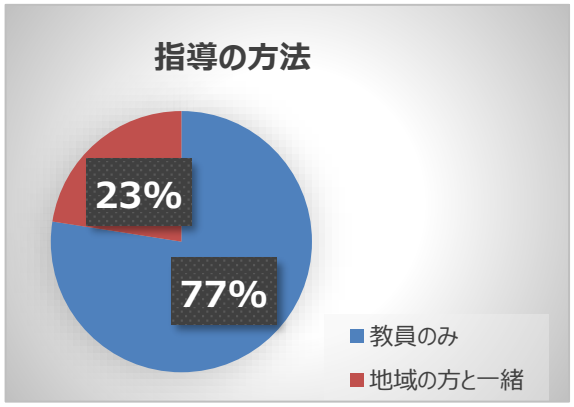
Q.部活動に参加している人の中で地域クラブ活動に参加した人

種　目	ソフト	卓球	テニス	バレー	バスケ	ハンド	サッカー	陸上
クラブ参加/部所属	11人/15人中	27人/54人中	28人/57人中	22人/76人中	18人/64人中	23人/89人中	7人/57人中	6人/73人中
参加率	73%	50%	49%	29%	28%	26%	12%	8%

Q.大治中部活動顧問40人の中で、令和8年度「おおはる地域クラブ」の指導者を希望しますか。



Q.令和8年度「おおはる地域クラブ」で指導を希望する人の中で、地域の方と一緒に指導したいか、教員だけで指導したいか。



●参加者/関係者の声

参加者①

大学生の方と一緒に練習ができ、できないところは優しく教えてくれたので参加してよかった。

参加者②

学校の部活動が地域クラブに変わっても安心してスポーツを続けることができてうれしい。

部活動顧問③

月1回でも地域クラブとして実施してもらえるのはよかった。競技経験豊富な方や指導経験がある方で学校とも連携して取組んでいただけたのでとても助かった。

地域指導者④

ボランティアで指導してほしいという話はくるが、スポーツを指導して生計を立てているので、報酬もいただけて何かあったときもすぐに対応していただけるのでとてもありがたい。

運営事務局⑤

生活困窮家庭への費用支援を含め、地域クラブを運営するには財源を確保しなければならないので、サポーター企業を募集して取組んでいるが、運営事務局の負担が大きすぎる。

2.実証内容と成果③

スポーツ庁

参考資料　　大治町地域クラブ活動の様子　　＊サポーター企業Tシャツを着て練習



【バレーボールクラブ】



【バスケットボールクラブ】



【女子卓球クラブ】



【ソフトテニスクラブ】



【サッカークラブ】



【男子ハンドボールクラブ】

2.実証内容と成果

スポーツ庁

地域クラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和5年度		令和6年度		令和7年度	
事務局設置 意見交換会開催 検討開始	アンケート実施 指導者の選定 部活動の選定 教員への説明	生徒・保護者への説明 実証事業開始 部活動との調整 意見交換会開催	小学生とその保護者の意識改革 教員・生徒・保護者へアンケート実施	地域クラブ活動の拡大 意見交換会開催 教員へアンケート実施	土日の地域クラブの完全実施時期を検討 令和8年地域クラブ指導者を選定

令和5年度

●ステークホルダー
- ・町教育委員会 ・学校教育課 ・スポーツ課
- ・社会教育課 ・総合型地域スポーツクラブ
- ・大治町内小中学校 ・町スポーツ、文化協会
- ・スポーツ教室講師と講師の在籍する企業
- ・大学・高校

●経過
- ・他市町村との情報交換⇒運営事務局選定⇒関係機関と意見交換会開催⇒アンケート実施⇒教員へ説明⇒令和6年県実証事業指導者選定⇒令和6年対象部活動を選定

●実施にあたって生じた課題
- ・教員、児童生徒、保護者への周知
- ・地域への広報

●実施内容、工夫した点 等
- ・入学説明会等で児童生徒へ説明
- ・チラシの配布

令和6年度

●ステークホルダー
- ・町教育委員会 ・学校教育課 ・スポーツ課
- ・社会教育課 ・総合型地域スポーツクラブ
- ・大治町内小中学校 ・町スポーツ、文化協会
- ・スポーツ教室講師と講師の在籍する企業
- ・大学・地元企業

●経過
- ・教員、生徒、保護者へ説明⇒運営事務局決定⇒関係機関と意見交換会開催⇒アンケート実施⇒連絡アプリ導入⇒令和7年県実証事業指導者選定⇒令和7年対象部活動を選定

●実施にあたって生じた課題
- ・地域クラブ活動日の調整
- ・財源の確保

●実施内容、工夫した点 等
- ・連絡アプリの導入
- ・企業との連携

令和7年度

●ステークホルダー
- ・町教育委員会 ・学校教育課 ・スポーツ課
- ・社会教育課 ・総合型地域スポーツクラブ
- ・大治町内小中学校 ・町スポーツ、文化協会
- ・スポーツ教室講師と講師の在籍する企業
- ・大学・地元企業

●経過
- ・教員、生徒、保護者へ説明⇒連絡アプリ導入⇒関係機関と意見交換会開催⇒学校と申込期日等調整⇒指導者と契約⇒地域クラブ開始⇒参加申込受付⇒参加費徴収⇒令和8年地域クラブ開始時期決定

●実施にあたって生じた課題
- ・参加費の徴収方法
- ・施設の調整
- ・生活困窮家庭への支援方法

●実施内容、工夫した点 等
- ・部活動アプリの導入
- ・企業との連携

3.今後の方向性

スポーツ庁

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

【大治町の目指す姿】

大治町部活動地域展開　【目指す姿】　令和8年2月27日

① 生徒のニーズに合わせて選択できる

A 平日だけ活動したい　B 平日・土日ともに活動したい　C 教室やクラブでもっとうまくなりたい　D フリー

② 小学生から発達段階に合わせてスポーツ・文化体験ができる

③ 休日は教員の希望に合わせて選択できる

A 教員だけで指導したい　B 地域指導者と一緒に指導したい　C 指導は難しい

④ 小中学生の活動を地域企業が応援し、地元に愛着の持てる活動とする

【ロードマップ】

	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	
取組内容	・国ガイドライン周知 ・意見交換会開催 ・大治町地域連携方針を検討 ・大治町部活動地域連携について保護者と教職員へ広報 ・教員アンケート実施 ・小学生スポーツチャレンジを開催	・教職員へ説明 ・実証事業に6部活が参加 ・意見交換会開催（3回） ・小5、6年生へ大治町部活動地域連携を説明 ・児童・生徒、保護者、教職員にアンケート実施 ・地域団体へ説明 ・教職員兼職兼業を検討 ・保護者費用負担を検討	・実証事業の拡大 ・意見交換会開催 ・土日の地域クラブ活動開始時期を決定 ・生徒、保護者、教職員、関係者に今後の地域展開について説明 ・指導者の確保 ・学校と地域クラブの連携方法を検討 ・生活困窮家庭への支援方法を検討	・土日の部活動を廃止し、地域クラブ活動を開始（令和8年8月～） ・教員へ地域クラブ指導者希望アンケートを実施 ・地域指導者登録開始、契約 ・参加申し込み・参加費徴収・連絡・情報交換・出欠確認ができる「部活動アプリ」を導入 ・小学生の地域クラブ「授業後スポーツチャレンジ」を開始 ・サポーター企業を募集 ・大会・コンクールの引率・監督について検討	・平日の部活動について意見交換会を実施	